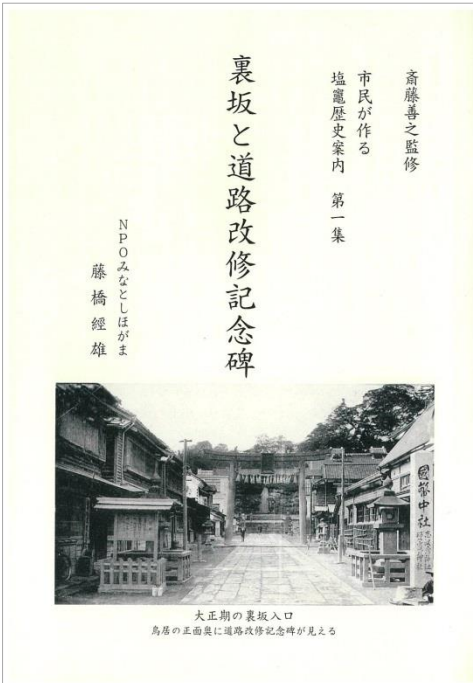
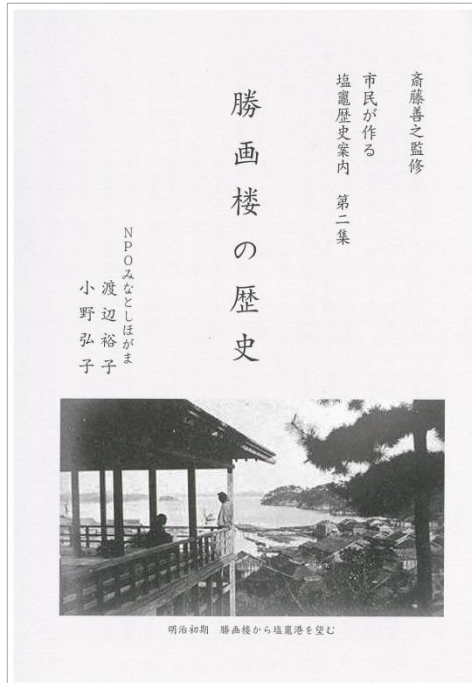
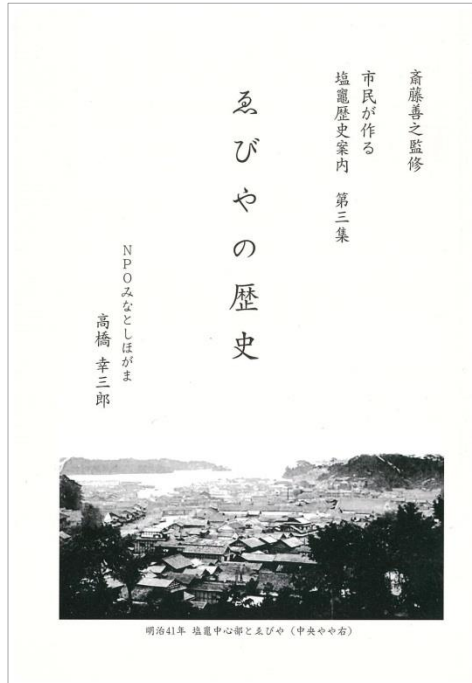


「NOP みなとしほがま」からの冊子案内

市民が作る塩竈歴史案内第一集	市民が作る塩竈歴史案内第二集	市民が作る塩竈歴史案内第三集	学生が作る塩竈歴史案内
			
<p>塩竈神社参道の裏坂の石鳥居を過ぎ左に曲がるところに、明治41年建立の「裏坂改修記念碑」がある。</p> <p>この記念碑を読み解くことにより、裏坂改修の歴史と、塩竈・仙台と共に東京や関西方面の寄進者の分布から当時の塩竈の経済活動の広がりを読み解いている。</p>	<p>松画楼は、240年ほど前に塩竈神社の別当寺・法連寺の書院として建てられたとみられる。</p> <p>老朽化により解体の危機にあったが、「NOP みなとしほがま」などの活動により、市が保存を決定した。本書では、松画楼はどのような建物なのかについて、その歴史を著している。</p>	<p>旅館「ゑびや」は、明治初期の建物で、3.11の時は茶舗「松亀園」であったが、津波被災により取り壊しの危機にあった。「NOP みなとしほがま」の保存活動により、平成27年10月に「まちかど博物館」として修復が完成した。この「ゑびや」の歴史や、修復保存までの経緯を著している。</p>	<p>『銀河鉄道の夜』には、花巻だけではなく、当時の塩竈にしかなかった事物もモチーフとして取り入れられていたという説を知り、当時の史料や現地を確認し、その結果を踏まえ、塩竈との繋がりを著したものである。因みに、宮沢賢治は、明治45年、15歳の時に盛岡中学4年の修学旅行で塩竈も訪れている。</p>
<p>監修：斎藤善之 執筆：藤橋経雄</p>	<p>監修：斎藤善之 執筆：渡辺裕子・小野弘子</p>	<p>監修：斎藤善之 執筆：高橋幸三郎</p>	<p>監修：斎藤善之 執筆：東北学院大学斎藤ゼミ学生グループ</p>
<p>A5版 24頁 頒布価格：300円</p>	<p>A5版 24頁 頒布価格：300円</p>	<p>A5版 16頁 頒布価格：300円</p>	<p>A5版 17頁 頒布価格：250円</p>

※冊子は、亀井邸及び旧ゑびや旅館で購入可能です。他に「塩竈中心部の歴史的建物案内」マップ（50円）があります。